

Ⅲ 研究の成果と課題

(1) カリキュラム・マネジメント班の取組について

○成果

今年度は、カリキュラム・マネジメントの3つの側面からそれぞれ研究を行い、形にすることができた。教科等横断的な視点による取組では、教科横断表現力シートを作成して活用することを通して、校内研修の拡大教科部会で教員同士が活発に意見交流をする姿が見られ、学校全体が教育課程の中で教科横断的なつながりを意識した活動を実践することができた。また、地域人材活用一覧表を作成したことで学校と地域等とのつながりをより意識して取り組むことができ、学校行事や学習活動の計画や見直し等に役立った。

●課題

当初、教科等横断的な視点による取組では、一年間分の各学年・各教科の単元計画を基にした表現力に関わる学習内容のつながりを教科横断表現力シートとして表す予定であったが、年間指導計画が大幅に変わってしまったために月毎の一覧表とすることになった。また、人的又は物的な体制を確保する取組では、毎年協力いただいている外部の方も呼べない状況も続き、検証が不十分となった。今年度の状況の中で進めた研修内容やその成果等を来年度につなげていきたい。

(2) 授業改善班の取組について

○成果

学力アンケートの結果から、一中スタンダードⅡが教員と生徒たちに定着しつつあり、校内研修の主題、新学習指導要領にある主体的・対話的で深い学びの実現に向け、教員が工夫して授業を実践していることが分かった。また、生徒の表現力を養うために、授業では教員が各教科の特性を活かしながら意見交流や発表の時間を多く取っていることが、生徒アンケートからわかった。生徒が自分の意見や考え等を表現する機会が増えたことで学習意欲が高まったことが見えてきた。

●課題

表現力を高めることが学力の定着や向上につながるという検証をする機会が少なかった。今年度の研修で表現力を醸成した生徒が、自らの課題に対して各教科における既習の学習内容等を基に主体的な態度で学習を進められるように研修を進めていきたい。

(3) 学習改善班の取組について

○成果

授業と家庭学習のつながりを高めるために、家庭学習のてびきと学びアップカードを刷新した。家庭学習のてびきでは、今までの家庭学習の視点の他に、授業と学習内容をつなげる意識を高める記述を入れたことで、学校で出される宿題や課題を次の授業につなげる意識が高まった。また、教師側も次の授業につながる宿題や課題を意図的に出すことで、家庭学習を授業につなぐことや限られた授業時間を有効に使う意識が高まった。学びアップカードでは、家庭学習の時間よりも内容を意識することで、生徒は授業内容を基に自分で計画を立てて実行することができた。

●課題

家庭学習のてびきの内容がやや1年生向けの内容となっていたため、2・3年生への活用に課題が残った。また、学びアップカードで養った自分で計画を立てて学習をして評価することを習慣化するために、長期的視点で取り組む方策が必要であると感じた。今年度の研究をもとにさらに授業と家庭学習のつながりを強める取組ができるようにしたい。